

振興会だより

よしだ

2025年(令和7年)
8月20日発行
第55号
吉田地区振興会

会長就任にあたって



芦田宏治新会長

吉田地区振興会会長

芦田 宏治

日頃より、吉田地区振興会の活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本年1月副会長としての任を受けた矢先、前会長がご逝去されました。地域のために尽くされたご功績に深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

その後、会長代行として務めてまいりましたが、この度5月の総会において、正式に会長を

拝命いたしました。大変重責ではございますが、地域の皆様と共に歩みながら、安心して暮らせる地域づくりに力を尽くしてまいります。

吉田町は毛利元就公の生誕地として知られ、中世の山城「郡山城」や民俗芸能の神楽、サンフレッチエ広島の練習場など、歴史・文化・スポーツに恵まれた地域です。一方で平成16年3月の合併時点の安芸高田市の人口は34617人でしたが、令和7年7月1日時点では25611人となっており、21年間で約9000人の減少で、少子高齢化や担い手不足と言った深刻な課題に直面しています。

こうした中で、自治会の役割はますます重要となっております。私たち吉田地区振興会は、市内32振興会の中でもっとも多くの会員を有しています。この

強みを生かし、市や他の地区振興会・団体とも積極的に連携し、地域全体の活性化に貢献して行きたいと考えています。

近年、どこの自治会においても役員のなら手がいないことが大きな課題になっていきます。吉田地区振興会においても同様の悩みを抱えています。短期間で課題を解決することは困難かも知れませんが、今後は特に若い世代が「参加してみたい」と思われるような、魅力ある振興会づくりに力を入れていきます。世代を超えて誰もが関われる活動を展開し、「吉田地区振興会があつてよかった」と感じていただけるような存在を目指します。

安心して暮らせる元気なまちづくりを、役員一同力を合わせて進めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。



令和7年度役員

5月16日に開催された令和7年度総会とその後の各部会で新役員が決まりました。任期は2年です。また、事務局の4名も決まりました。よろしく願いいたします。

会長	芦田 宏治
副会長	立田 昭男
副会長	高都 正則
総務部長	今田 基良
環境福祉部長	土居みゆき
産業観光部長	井尻 満
文化教育部長	久保 博靖
体育部長	石川 達三
女性部長	米下 悦子
事務局長	山根 孝浩
会計	相川 辰子
監事	牧村 昇司
監事	猪上恵美子
事務局	岡島 勤
	岡本 充行
	河野加代子
	植崎 正明

令和7年度総会の 報告について

令和7年5月16日(金)に安芸高田市民文化センター小ホールに於いて令和7年度定例総会が開催され、6議案について慎重に審議されました。

その結果、第1号から第4号議案の令和6年度の事業報告及び決算報告、令和7年度事業計画案及び事業予算案については原案通り承認されました。

第5号議案の規約の改正は、ブロック長を無くして役員会と事務局会の構成を変えるもので、原案通り承認されました。

第6号議案については今年度が役員改選の年で、会長、副会長、幹事は総会において選出され、事務局長、会計係は会長が推薦した2名が総会において承認されました。その後の部会で6人の部長が選出されました。

なお、吉田地区振興会敬老会特別会計は、事業はありませんでしたので、143万2097円の繰越となっています。

令和6年度 事業報告

《事業》

【吉田地区振興会】

No.	実施期日	内 容	備 考	No.	実施時期	内 容	備 考
1	5月17日(金)	総会		4	11月17日(日)	第16回 歴史探訪	文化教育部
2	7月24日(水)	女性部 視察研修	女性部	5	3月22日(土)	ぼんぼりの 設置	産業観光部
3	9月12日(木)	振興会だより 発行	総務部	6	3月29日(土)	まちづくり リーダー研修	総務部

【吉田町地域振興会連絡協議会】

No.	実施期日	内 容	備 考
1	6月29日(土)	ボランティア・ロードの整備(マリーゴールドの植栽作業)	環境福祉部
2	7月 7日(日)	吉田町内一斉清掃	
3	7月20日(土)	第41回一心祭り	一心祭り実行委員会
4	11月10日(日)	第27回吉田町グラウンドゴルフチャンピオン大会	体育部
5	11月16日(土)	ボランティア・ロードの整備(パンジーの植栽作業)	環境福祉部

《会 議》

【行政区委員会・事務局会等】

No.	開催期日	内 容	No.	開催期日	内 容
1	4月12日(金)	第1回事務局会	7	8月 9日(金)	第4回事務局会
2	4月26日(金)	第2回事務局会	8	11月15日(金)	第5回事務局会
3	4月26日(金)	会計監査	9	1月24日(金)	第6回事務局会
4	5月17日(金)	定例総会	10	2月21日(金)	第7回事務局会
5	6月 7日(金)	第3回事務局会	11	3月21日(金)	第8回事務局会
6	6月20日(木)	第1回行政区委員会			

【各部会議】

開 催 部 名	開催回次	開催期日
総務部・環境福祉部・産業観光部・ 文化教育部・体育部・女性部	第1回部会	5月17日(金) 総会終了後
総務部	第2回部会	9月 3日(火)
	第2回部会	6月27日(木)
文化教育部	第3回部会	8月23日(金)
	第4回部会	2月22日(土)

令和6年度 吉田地区振興会一般会計決算書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

【収 入 の 部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考	
助 成 金	2,981,000	3,246,000	安芸高田市地域運営一括交付金	2,981,000
			一斉清掃助成金 他	265,000
会 費	240,000	238,200	1戸当り200円×1,191戸	238,200
参 加 費	450,000	183,000	一心祭り反省会参加者負担金	19,000
			まちづくりリーダー研修参加者負担金	21,000
			歴史探訪参加者負担金	120,000
			女性部視察研修	23,000
寄 付 金	1,000	0		0
雑 収 入	1,000	1,165	預金利息	1,165
繰 越 金	6,652,234	6,652,234	前年度より繰越	
合 計	10,325,234	10,320,599		

【支 出 の 部】

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	備 考	
負 担 金		1,364,000	1,374,000	吉田町地域振興会連絡協議会負担金等	1,374,000
事業費	総 務 部	500,000	316,950	会報誌発行	102,300
				リーダー研修	214,650
				花いっぱい運動	8,625
	環境福祉部	250,000	162,745	各地区ふれあい会支援 9行政区	75,500
				サロン参加者タクシー料金補助	78,620
				子ども歌舞伎助成	50,000
	産業観光部	100,000	294,443	ぼんぼりの設置	7,943
				倉庫屋根修理	236,500
				書初め大会	57,837
	文化教育部	720,000	510,620	歴史探訪	452,783
	体 育 部	100,000	0		0
	女 性 部	200,000	206,939	広島市環境施設視察研修	206,939
	そ の 他	660,000	295,937	町内一斉清掃 5,000円×47行政区	235,000
一心祭り				54,297	
大浜運動公園整備 ガソリン代他				6,640	
合 計		2,530,000	1,787,634		
活 動 助 成 金		100,000	55,000	地域学習会 5,000円×11行政区	55,000
会 議 費		150,000	117,442	一心祭り反省会 他	117,442
備 品 費		100,000	0		0
事 務 費	454,000	335,460	通信費	171,984	
			消耗品費	20,470	
			振込手数料 他	5,390	
			コピー機リース料	77,616	
			事務所使用料	10,000	
			報償費	50,000	
予 備 費		5,627,234	0		
合 計		10,325,234	3,669,536		

(収入) 10,320,599円 - (支出) 3,669,536円 = 6,651,063円 次年度へ繰越額

令和7年度 事業計画

吉田地区振興会

	予定時期	内 容	備 考		予定時期	内 容	備 考
1	5月	郡山公園ぼんぼりの撤去	産業観光部	8	10月	まちづくりリーダー研修	総務部
2	6月	よしだの文化財探訪	文化教育部	9	10月	第17回歴史探訪	文化教育部
3	6月	ごみの減量について研修	環境福祉部	10	3月	郡山公園ぼんぼりの設置	産業観光部
4	7月	野外スポーツの研修	体育部	11	未定	地域懇談会	総務部
5	9月	健康増進に関するイベント	女性部	12	未定	ボランティア活動を通じた国際交流の推進	女性部
6	9月	郡山クリーン作戦	産業観光部				
7	10月	第27回 吉田地区GG大会	体育部	13	3回	振興会だより発行	総務部

吉田町地域振興会連絡協議会

	予定時期	内 容	備 考
1	6月	ボランティア・ロードの整備 (マリーゴールド)	環境福祉部
2	7月 6日(日)	町内一斉清掃	
3	7月19日(土)	第42回一心祭り	一心祭り実行委員会
4	11月	第28回吉田町グラウンドゴルフチャンピオン大会 (担当：郷野地区振興会)	体育部
5	11月	ボランティア・ロードの整備 (パンジーの植栽作業)	環境福祉部

9月以降の主な事業

9月

◎ボランティア活動と国際交流

日時 9月7日(日)

9時～14時

内容

外国人とのボランティア

交流会

募集人数 20人

◎新スポーツ(モルック)研修

日時 9月20日(土)

9時30分～12時

内容

モルックの指導と健康教室

募集人数 20人

10月

◎ノルディックウォーク講習

日時 10月5日(日)

9時30分～12時

内容

ノルディックウォークの

基礎講習

募集人数 20人

◎グラウンドゴルフ吉田地区大会

日時 10月18日(土)

9時～

募集チーム 12チーム

◎歴史探訪福山鞆の浦

日時 10月25日(土)

7時～

内容

毛利輝元ゆかりの地

鞆の浦探訪

募集人数 40人

11月

◎郡山クリーン作戦

日時 11月2日(日)

9時～12時

内容 郡山クリーン作戦

募集人数 20人

◎グラウンドゴルフチャンピオン大会

日時 11月9日(日) 9時～

内容

吉田町4地区の代表が

チャンピオンを競う

※日時未定の事業は掲載していません

※当初計画より日時等を変更した事業があります

令和7年度 吉田地区振興会一般会計予算書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

(単位：円)

【収 入 の 部】

科 目	予算額	前年度実績額	備 考	
助 成 金	1,735,000	3,246,000	安芸高田市地域運営一括交付金	1,455,000
			一斉清掃助成金 他	280,000
会 費	240,000	238,200	1戸当り200円×1,200戸	240,000
参 加 費	200,000	183,000	視察研修・歴史探訪参加者負担金 他	200,000
寄 付 金	1,000	0		1,000
雑 収 入	1,000	1,165	預金利息	1,000
	1,000	0		1,000
繰 越 金	6,651,063	6,652,234	前年度より繰越	
合 計	8,829,063	10,320,599		

【支 出 の 部】

(単位：円)

科 目		予算額	前年度実績額	備 考	
負 担 金		0	1,374,000	吉田町地域振興会連絡協議会負担金等	0
事業費	総 務 部	630,000	316,950	会報誌発行（3回）	300,000
				リーダー研修	300,000
				地域懇談会	30,000
	環境福祉部	300,000	162,745	花いっぱい運動	50,000
				各地区ふれあい会支援	150,000
				ごみの減量について研修	100,000
	産業観光部	130,000	294,443	子供歌舞伎保存会助成	50,000
				ぼんぼり取り付け作業等	40,000
				郡山クリーン作戦	40,000
	文化教育部	680,000	510,620	書初め大会助成	80,000
				歴史探訪・よしだの文化財探訪	600,000
	体 育 部	60,000	0	グラウンドゴルフ大会・野外スポーツの研修	60,000
	女 性 部	110,000	206,939	健康増進に関するイベント	30,000
				ボランティア活動を通じた国際交流の推進	80,000
そ の 他	360,000	295,937	町内一斉清掃 5,000×50行政区	250,000	
			一心祭り	100,000	
			大浜運動公園整備	10,000	
合 計		2,270,000	1,787,634		
活 動 助 成 金		100,000	55,000	地域学習会 5,000×20行政区	100,000
会 議 費		150,000	117,442	お茶代他	150,000
備 品 費		100,000	0		100,000
事 務 費	390,000	335,460	通信費	200,000	
			消耗品費	100,000	
			コピー機リース料 年間8,316円	10,000	
			事務所使用料	20,000	
			振込手数料	10,000	
			報償費	50,000	
基 金 積 立 金		4,000,000	0	基金積立金	4,000,000
予 備 費		1,819,063	0		
合 計		8,829,063	3,669,536		

野外研修 「よしだの文化財探訪」

6月1日、文化教育部会主催の行事、第1弾を開催しました。NHKの人気番組「ブラタモリ」のようなイメージで吉田の街を歩きながら、文化財や史蹟などを探訪できればいいなと考えていました。基本的なルートは「縄手」（なわて）と呼ばれた古道。これが現在の道路とかなり重なっているの、見る人が見れば、その痕跡が分かります。



小島雪晴の墓

8時半に出発点の多文化共生センター「きらり」に集合し、開会式を行いました。その後、ガイドの一本木晴子さん、詳細な資料を作成された田丸道男さんの説明を聞きながら歩きました。お二人の御尽力に感謝申し上げます。

香取縄手、立縄手、油縄手、たどり多治比川に達すると川土手に沿って下流に向かいます。参加者からは懐かしむ声が聞こえてきます。「ここには木の橋がかかっていたんじゃが、大水で流された」「アヒルが泳ぎよった」「この小路の先には風呂屋があった」「ここを通過して通学したもんよ」「ここはわたしの遊び場じゃった」等々。

吉田出身の絵師・小島雪晴の墓、江戸幕府の奥医師にまで上りつめた土生玄碩の生家を経ると福泉坊、恵比須社、高林坊、清住寺と古刹が続きます。なんと広島市の胡神社は分身で、本家本元はこちらなのです！また、清住寺の千手観音立像は来年の4月に33年ぶりに開帳されるそうです。へらぼりの池の跡地は

清潔で広い公園となっていています。貧窮に苦しむ民のための救済事業を行った吉田与三郎の偉業に思いを寄せました。

巡礼堂縄手を北上して徳栄寺前を過ぎると十字路を左折して立縄手を西に進みました。すると今はグラウンドや大型店舗によって分断された検校縄手の痕跡を認めることができる場所がありました。油縄手の起点まで来ると、今度は祇園縄手を上り、清神社に到ります。しばし大杉の木陰で社殿の構造や石垣の特徴などを教えていただきました。そして最後は出発点の「きらり」に帰り、「三矢の訓」の碑の前で記念撮影をしました。約2時間の行程でした。



恵比須社

「きらり」の食堂で感想などを話してもらいました。皆さんの声をまとめると、私たちの里には貴重な文化財がたくさんあることが分かった、日常のなんでもない景色がとても大切なものを感じた、もっと吉田について知りたい、云々。

吉田と言えばすぐ「毛利氏と郡山城」となりますが、そこに暮らした民衆の生活史にも眼を向けたいものです。その意味で今研修は、だれもが利用する「道」に着目したところが斬新でした。人流・物流の要であった縄手の左右に市が立ち、商売が行われ、寺社に人々が集まり、季節ごとの祭りが催される。雑踏のにぎわいや歓声が聞こえてきそうです。そんな空想に浸りながら、これから私たちは何を受け継ぎ、残していけばいいのでしょうか。数百年も前から吉田の里を見守ってきた落羽松、大銀杏、大杉が、仰ぎ見ている私たちに問いかけています。答えは私たち一人ひとりの心の中にあるのです。

(國光俊克)

花いっぱい運動

6月28日(土)に環境福祉部のメンバーら18人が参加して、吉田町常友の国道54号線沿いにあるボランティアアロードにマリーゴールドとサルビアの苗約250本を植え付けました。

鹿除け用ネットや除草シートを取り外してから作業となりましたが、前日に花壇周辺の草刈りをやっておいたので、作業は比較的スムーズに運び、約2時間で完了しました。



みんなで花の植え付け作業

花を植えて約1か月になりましたが、雨が降ったのは数日で、連日の猛暑のため、毎日夕方に水やりを行っています。ボランティアアロードにどのような花を植えるのが適切か、管理面も含めて検討する必要があると思いました。



植栽に参加した会員

ごみの減量化推進研修

7月10日(木)、ごみの減量化を推進するための視察研修を実施し、21名が参加しました。

午前は、北広島町にあるごみ

処理施設「芸北広域きれいセンタ―」の視察研修を行いました。

この施設は、安芸高田市と北広島町でつくる芸北広域環境施設組合が運営、築30年が経過しており、施設の更新が喫緊の課題となっています。当日は、可燃ごみや資源ごみなどの処理工程の現場を視察した後、ごみの減量化や、資源ごみの分別の仕方などの研修を行いました。



ごみ焼却場の説明

午後からは、吉田町上入江にある(株)マルシンの混合廃棄物処理施設(通称AOBOTEC)を視察しました。A-1を活用した自動選別、素材を識別して選別する光学選別機など、最先端の設備を導入しており、年間19800トンの処理能力をそなえているとのことでした。

(土居みゆき)



A-1ロボットのリサイクル施設

第42回『一心祭り』

7月19日(土)、吉田運動公園で恒例の第42回一心祭りが開催され、約6000人の来場者でにぎわいました。この一心祭りは吉田町内4つの振興会が共催するもので猛暑の中、地元の保育園児や小学生による踊りのステージ発表に始まり、毛利元就とその3兄弟が登場する勇壮な「武者絵巻」は観衆を魅了しました。武者絵巻に続いて会場を盛り上げたのは「一心節踊り」でした。4地区振興会から多くの参加者があり、飛び入り参加する方も見られました。また、市内の企業で働く外国人の方にもたくさん参加していただいたのも一心祭りの魅力の一つだと思います。浴衣を着て楽しそうに踊る姿は、会場の雰囲気をとてと和やかにしてくれました。

フィナーレの花火は、1000発打ち上げられ、曲に合わせた花火など見ることが出来て、今年も大いに盛り上がりしました。



勇壮な武者絵巻



吉田保育所・幼稚園の獅子舞



フィナーレの花火



一心節踊り

※編集後記※

今回は新体制で初めての広報誌発行となり、会長の所信表明をはじめ、総会で承認された事業計画や、文化教育部・環境福祉部の活動報告、「一心祭り」の様相まで幅広い内容を盛り込みました。

少子高齢化・人口減少という中山間地が直面する課題に向き合いながらも、若い世代が地域に関心を持てるような活動や、市・他団体との連携によって、少しずつ活気ある地域づくりが進むことを願っています。

各部の事業の原稿依頼では何かと協力いただきました。心より感謝申し上げます。

「振興会だより」が地域の情報を届けるだけでなく、住民同士のつながりを深める一助になれば幸いです。

今後も皆様の声を反映しながら、より親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。

